

土地家屋調査士試験

記述式過去問解説講座ガイダンス
～「合格するための過去問学習法」～



- 完走できない受験生が多くいる
 - 土地の解答用紙の白紙の多さ
- 満点は必要ない
 - 満点を取るのは難しい
 - 基準点と合格点までの差は、択一で取る
- 減点方式
 - 正確な知識が要求される
- 択一と記述式は同じ不動産登記法
 - 択一知識がそのまま記述式で出題

調査士試験の記述式問題の特徴を把握した学習が重要



- 完走できない受験生が多くいる
 - 土地の解答用紙の白紙の多さ → 計算・作図以外の問題把握・検討
- 満点は必要ない
 - 満点を取るのは難しい
 - 基準点と合格点までの差は、 択一で取る
- 減点方式
 - 正確な知識が要求される
- 択一と記述式は同じ不動産登記法
 - 択一知識がそのまま記述式で出題
→ 記述式でどう問われるか？を考える

「記述式過去問解説講座」の4つの特徴



- ① 実践的な問題把握・検討方法について解説
- ② ミスをなくすための工夫
- ③ 現行出題形式となってからの、すべての過去問を解説
- ④ 総合講義・[中山式] 複素数計算・新定規の使い方の3講座をつなぐ

実践的な問題把握・検討方法 について解説

- 問題を読む順番
- 戻りを少なくすることで、早くなる

ミスをなくすための工夫

- 論点を先回りする（分筆登記に乙区）
- 答案構成用紙になにを書くべきか
- 忘れる前に解答用紙に書く

すべての過去問を解説

- 出題が予想される登記がつぶせる
- 年度による難易度の波に慣れる

3講座をつなぐ

- ・ 「総合講義」 「[中山式] 複素数計算」 「新・定規の使い方講座」
- ・ 記述式の問題は、知識・技術の総まとめ

各講座のつながり

